

○第13回全国中学生弓道大会参加中学生の感想

中能登町立中能登中学校 3年 清水 来樹

明治神宮での念願の大舞台に、僕は緊張するというより、わくわくしていました。今まで3年間の練習の集大成を発揮したいと強く思い、挑んだ大会でした。しかし、場の雰囲気のみ込まれてしまい良い射をすることはできませんでした。まず、大前としての役目を二立目では果たすことができませんでした。僕がチームの流れをつくることができず、メンバーに悪いという気持ちになり、とても悔いが残ってしまいました。敗因は、僕にあると思います。

でも、ここまでこられたのは、仲間と最高のチームワークがあったからだと思っています。このことを誇りに思い、次の高校での弓道につなげたいと思います。3年間、ありがとうございました。

中能登町立中能登中学校 3年 岡野 暉

中能登中学校弓道部は、全国大会出場にむけて、練習を積み重ねてきました。県大会では、予定通り、全国大会の切符をつかむことができました。そして、待ちに待った全国大会でしたが、想定外なことに、大雨の土砂降りでした。そして、予選通過を目標に練習してきましたが、大会の結果も想定外なことに予選敗退でした。

この大会で勉強してきたことは、都会の喧騒と、予想外のところでおきる拍手と響めきに平常心を奪われないこと、そして、何事にも動じない強い心を持つことです。

結果は残念でしたが、3年間、弓道部としての部活動はとても楽しかったです。ありがとうございました。

中能登町立中能登中学校 3年 山邊 晃聖

僕は、第13回全国中学生弓道大会に出場できて、とても良かったです。今回、僕は、団体戦で出場しましたが、会場はいつも練習しているところとは違い、とても張り詰めていて、普段の練習や大会で味わうことのできない雰囲気が感じられました。とても、いい経験になりました。

今回の大会で、学んだことがあります。1つ目は、仲間の大切さです。これは自分ひとりの力だけでは、全国大会には出場することができなかったからです。2つ目は、親、コーチや顧問の先生、地域の弓道協会の方々への感謝です。コーチや顧問の先生、地域の弓道協会の方々は、自分たちのために練習につきあってくれました。親は、何一つ文句も言わず、部活動や弓道協会の夜練習の送迎をしてくれました。この支えがなかったら、きっと出場できなかったと思います。この気持ちを忘れず、これからもいろいろな事に頑張りたいと思います。本当に、ありがとうございました。

羽咋市立邑知中学校 3年 松田 洋那

全国大会では、今まで練習してきた成果を発揮することができ、悔いのない大会でした。全国の中学生と戦えたことやみんなと戦えたことがとても楽しかったです。今まで練習しても、自分が思うようにうまくいかず悔しい思いもたくさんしてきました。でも、自分たちは、一人ではなかったから、支えてくれる仲間がいたからこそここまで頑張ることができました。今まで応援してくれた先生方や仲間、家族に感謝して、自分も後輩たちを温かく見守ってあげたいと思っています。そして、来年こそは優勝してきてほしいです。

羽咋市立邑知中学校 2年 長野 佑紀

私は全国大会で、八節がどれほど大切なのかを思い知らされました。私は、今回の大会で会が全く持てませんでした。しかし、技能賞をもらった人は、型がすごくきれいで八節ができていました。そういう人は、的中率も高く、大切なのだと実感しました。私には、まだ来年あの大舞台に立てるチャンスがあります。だから、これからはキャプテンとして、弓道部を引っ張り、今年こそ悔いの残らない大会にしたいです。なかなか行くことができない場所なので、二年生で出場できたことを誇りに思って、日々の練習を頑張っていきたいです。

羽咋市立邑知中学校 2年 若部 結風

私は全国大会のために日々いろんなことを練習してきました。全国大会までの1か月、みんなに負けなくらいの射ができるように頑張りました。しかし本番の前日、思ったようにいい射ができませんでした。何組かで一緒に座射をしていましたが、他のチームはどんどん当てていました。私も負けまいと今まで先輩や先生方から教えていただいたことを思い出して打ちました。練習が終わってみんなと反省したことは、プレッシャーでした。4人ともプレッシャーにつぶされていました。やはり、このプレッシャーは当日のほうが強かったです。結果は予選敗退です。しかし、私は良いことを学びました。どんな場所でも、いつもと同じ射をすることです。私にはまだ来年があります。今回出場して学んだことは、今後いろんな大会で身に付けていきたいです。そして、また来年同じ舞台に立って、次は予選通過できるようにこの1年間頑張っていきます。